

## 令和5年度 事業計画（案）

【 部 署 】	施設本部
【 計 画 】	(1) 収益の確保 月々の予算の達成を図る (2) 人材育成 接遇および介護力の向上 (3) BCP の作成と訓練の実施

【 部 署 】	相談員
【 計 画 】	特 養 (1) 稼働率の確保 (2) 家族、利用者のニーズの把握 ショート (1) 事業所との連帯・情報交換 (2) 稼働率の安定・感染予防対策の徹底 (3) 定期利用者の安定・新規利用者の増加

【 部 署 】	介 護
【 計 画 】	(舞子) ・入居者の些細な異常に気づき、早期受診を勧め早期退院を図る。 ・入居者、職員の感染対策の徹底。 (須磨ノ浦) ・ユニット職員間や他職種と連携を図り、健康面に配慮する。 ・施設理念に基づき思いやりある介護を行い、不適切ケアや虐待防止に努めます。 (淡路) ・接遇を改善し不適切ケア、虐待の防止。 ・報告、連絡、相談の徹底。 (一の谷) ・接遇を改めて見直し改善。相互に向上をさせて、不適切ケア虐待に繋がることないようにする。 ・コロナウィルス等の感染症への対応、医療的な目を持ち、他部署との連携を行い、入居者の健康面への早期対応に努める。 (離宮) ・職員が働きやすい環境を整えストレス緩和に努め、不適切ケア・虐待防止を図る。#

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策を徹底し、職員、入居者の安全を守る。# (村雨)</li> <li>・感染対策に努め、入居者の体調をしっかりと管理する。</li> <li>・入居者の身体面、精神面、社会面の尊厳を守るケアに努める。 (鉢伏・月見山)</li> <li>・稼働率の向上に努める。</li> <li>・居室環境の整備と行事、余暇活動の提供、個別介護計画書に沿った記録の充実とケアの検討会の実施。#</li> <li>・他職種とも連携し感染対策に努める。#</li> </ul>
--	--

<b>【 部 署 】</b>	看 護
<b>【 計 画 】</b>	<p>(1) 嘱託医師と連携を強化し、情報を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の異常の早期発見に努め、長期入院を予防する。</li> <li>・家族が安心できるように、タイムリーな情報提供をする。</li> </ul> <p>(2) 看護の質の向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護処置を統一し早期治癒へつなげる。</li> <li>・看護業務を見直し、マニュアルを作成する。</li> <li>・感染対策について、看護、介護で理解を深めクラスター発生の回避に努める。</li> </ul>

<b>【 部 署 】</b>	デイサービスセンター
<b>【 計 画 】</b>	<p>(1) 魅力あるデイへの転換</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 他の施設での経験や機能改善に結びつく様な新しいレク・メニューを積極的に取り入れることにより魅力あるデイと感じていただける様改革していきます。</li> <li>② お帰りいただく際に皆さんが笑顔で帰って頂ける様にしていきます。</li> </ol> <p>(2) 平均稼働率の向上と収益向上</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① デイサービスの魅力を従来どおり直接訪問による居宅マネージャーへの営業活動でアピールし、連携を図りながら新規利用者様獲得に繋げていきます。</li> <li>③ 介護度の高い利用者様や認知症介護への取り組みも積極的に行なっていきます。</li> </ol> <p>(3) 業務内容の改善・任務分担の改善</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① デイ会議・レク会議にて現在の状況把握・課題を共通認識として捉え皆で取り組みます。</li> <li>② 機能改善に向けた体操やレク等をこまめにいれていくなどマンネリ化を防ぐような業務内容の変更を行います。</li> </ol>

	<p>③ 職員間の連携を向上させることで利用者様へのサービスの向上を図ります。</p> <p>(4) 季節行事・外出行事の企画 お花見、夏祭り、運動会等の季節行事で効果的な機能訓練を目的としたサービスが提供できるよう企画してまいります。</p>
--	--

<p><b>【 部 署 】</b></p>	<p>居宅介護支援事業所</p>
<p><b>【 計 画 】</b></p>	<p>(1)介護支援専門員の資質の向上を図る</p> <p>①毎月の居宅会議開催</p> <p>②毎月の法人内合同会議（板宿地域包括支援センター、東須磨居宅、須磨シニア居宅）参加</p> <p>③事業所内外の研修に参加し連携を深め、ケアマネジメントに活かす。</p> <p>(2)居宅内の職員間の情報交換</p> <p>①毎月の居宅会議実施で活性化に繋げる</p> <p>②課題の共有、相談がスムーズに行う事が出来る</p> <p>③チームとして働く快適な職場作り、報告、連絡、相談の体制づくりなどを含めた、担当者不在時のフォロー体制づくり</p> <p>(3)ご本人・ご家族のお気持ちに寄り添い適切な介護サービス計画（ケアプラン）を一緒に考えます</p> <p>①利用者の暮らしを理解し、その人らしい自立した生活ができるように支援する</p> <p>②介護相談を受け、各種介護サービスの案内を丁寧に行う。介護サービス事業所は、ご本人・ご家族に納得いただき公正中立に選択してもらう</p> <p>②一人暮らしや認知症の高齢者、中重度の要介護の方が地域で安心して暮らせるよう地域資源や医療と連携し、チームケアが行なえるように支援する</p> <p>(4)連携</p> <p>①医療機関や地域包括支援センター等と連携を円滑にして、安心して任せて頂ける事業所づくり</p> <p>②医療機関や地域包括支援センター、介護サービス事業所から日頃から連携を図り信頼関係を築き支援につなげると共に新規獲得を目指す</p> <p>③地域の課題解決に向けて、民生委員の方々や地域住人、地域包括支援センターと連携して取り組む</p> <p>④居宅が窓口となり当法人のデイサービスやショートステイなどの利用につなげていく</p>

	⑤法人内、デイサービス会議へ出席
--	------------------

<b>【 部 署 】</b>	施設ケアマネ
<b>【 計 画 】</b>	(1) 多職種協働の推進 「その人らしい生活の継続」の支援に各職種の専門性の発揮 プランを確定する会議の充実を図る (2) ケアプラン見直しの円滑化 状態の変化に応じて引き続き必要な支援、見直す支援、追加 する支援の判断の為に必要な情報共有、連携を図る 本人の意欲を引き出せるようなプランづくり